

## 『信仰の白髪～敬老の日に思う』

吉田真司

先週9月第三月曜日は「敬老の日」でした。この「敬老の日」の主旨は、もともと始まった時は「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」というものだったそうです。◆レビ記にこうあります。「白髪の人の前では起立し、長老を尊び、あなたの神を畏れなさい。わたしは主である」(レビ19:32)。これは、高齢の方々を尊ぶことが、神様を礼拝することにつながる、ということです。それは、それが神様の創造の秩序だからです。神様は、私たちが高齢者を敬うことを、ご自分の喜びとなさいます。また箴言にはこうあります。「白髪は輝く冠、神に従う道に見いだされる」(箴言16:31)と。私も少しずつ(いや随分)白髪が増えてきましたが、まだまだです。私の小さな夢は、将来、輝かしいロマンスグレーになることですが、それは一夜にしてはなりません。一日一日、一年一年の積み重ねです。そしてそれは単に頭髪の事柄ではなくて、「神に従う」という点において、一日、一年の積み重ねをなしていききたい、そして来ります時には、輝く「信仰の白髪」を頂いていれど願います。◆詩編71編18節にも「白髪」という言葉が出てきます。「わたしが老いて白髪になっても、神よ、どうか捨て去らないでください」(詩編71:18前半)です。ここには、敬意の象徴、輝かしい信仰の歩みの象徴である「白髪」の意味ではなくて、「老いの特徴(厳しさ)」を表すものとして「白髪」という言葉が使われています。この詩人は信仰者です。けれどもやはり、老いる事への不安を抱えています。「神よ、どうか捨て去らないでください」という言葉が、その不安からの言葉です。でもこれは「神は、私をお見捨てにならない」という信仰の確信の裏返しでもあるのです。聖書のメッセージに「インマヌエル」という言葉があります。それは「神は、われわれと共におられる」という意味です。このインマヌエルが、最初から最後まで聖書を貫くメッセージです。ですから、安心できます。神様はいつも共にいてくださいます。讃美歌「いつくしみ深き」もそのメッセージに溢れています。「いつくしみ深き、共なるイエスは、変わらぬ愛もて、導きたもう」(3節)と。このイエス様が共にいてくださる平安が、今日も皆さまの魂を護って下さいますように。

## 教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&amp;FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>